

田代の郷整備事業について

教育部スポーツ振興課

田代の郷整備事業について、平成29年2月に整備計画のイメージを報告しましたが、平成29年度において、市民参加によるワークショップを開催し、整備計画の基本設計案がまとまったので、設計案について、報告するものです。

1. 経緯

田代の郷整備事業については、平成25年度に陸上競技場の整備の見直しにより、事業が一旦中止となり、平成26年度から民間活力を活用した公民連携による整備手法を検討したが、公共の交通手段や水量の問題から、その導入が困難であると判断した。その後、平成27年12月に実施した市民アンケート調査や伊太地区で実施したワークショップなど、市民や地元住民からの意見・提案を基本とし、関係課11課で構成する田代の郷整備事業プロジェクト会議での協議、庁内調整を経て、「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場」を整備することとし、4つのゾーニングを行い、①遊びのエリア、②多目的スポーツエリア、③憩いの芝生エリア、④その他のエリアとし、平成29年度において、ワークショップなどを開催し精度を高め、具体的に整備を進めていくこととした。

2. 整備の方針（方向性）

近年、子供たちや青少年の遊びの機会や場が減少し、その体力低下が心配されている。また、中高年者や障害者においては、健康づくり・生きがいづくりの視点から、スポーツ・レクリエーション活動に対する必要性が益々高まってきている。こうした背景を踏まえ、「子供から高齢者までが、楽しく健康の保持増進ができる多目的スポーツ・レクリエーション広場」を整備する。整備にあたっては、他市にない魅力的な施設にするとともに、子育て世代だけでなく若い世代の要望も取り入れるなど、市民からの要望に応えられる施設の整備をしていくこととする。

3. 基本設計案の作成（ワークショップ）について

上記の整備方針（整備計画イメージ）に基づき、市民参加によるワークショップを開催し、ワークショップでの意見及び市民アンケートを基に、基本設計案の作成を行った。

【ワークショップ開催日】

平成29年6月24日（土）、7月22日（土）、8月19日（土） 計3回

【ワークショップ参加者】

伊太地区役員、子育て関係者、高齢者の団体、障害者、スポーツ関係者
市PTA連絡協議会、中学生、高校生 から 30人が参加

4. 基本設計案について

ワークショップ及び市民アンケートに基づき、ゾーニングを行い、基本設計案を別添資料のとおりとした。

①遊具ゾーン（大型遊具、トイレなどを設置）

②スポーツゾーン（フットサル場1面、3×3、スケートボード場など）

③フリーゾーン（芝生広場、幼児用遊具、健康器具など）

④駐車場ゾーン（駐車場及びイベント広場、トイレなど）

※適宜、休憩スペースとして、四阿、パーゴラ、ベンチ、水飲み場などを設置する。

5. 事業費について

概算費用：4億8千万円

※財源：合併特例債の活用

芝生広場については、スポーツ振興くじの活用を検討。

観光施設整備事業費補助金等の活用を検討

6. 事業期間

平成30年度から工事に着手し、2ヵ年で完了する。

・平成30年度：全体の造成工事、埋設物、便益施設等附属施設

・平成31年度：大型遊具、フリーゾーン（幼児用遊具、芝生植え付け）

スポーツ施設、駐車場及び園路等の舗装工事

7. 今後の予定

・平成29年度末までに、詳細設計を完了する。

このため、平成29年9月補正予算に詳細設計に必要な委託料の予算を計上する。

8. その他

①フリーゾーンの芝生の植栽については、市民参加による植え付けを予定している。

②大型遊具の発注はプロポーザル方式を予定している。

③健康器具については、利用状況等を見ながら、設置について検討する。